

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	61	施設名称	高原農業研究所
	所在地	阿蘇市一の宮町宮地	施設管理所属	農業技術課
	敷地面積	43,166.0 m ²	都市計画区域	都市計画区域外
	延床面積	348.7 m ²	用途地域	
施設の目的	熊本県の中山間地域における農業振興作物の実証的試験研究を行っている			



(出典: 国土地理院)

2. 建物別一覧

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	事務所棟	1968	SRC	348.7	

3. 建物毎の概要等

(1) 事務所棟

① 概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	事務所棟	1968	SRC	348.7	1	0	53

※築年数はR3.3月末時点

② 利活用の方角性

A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	4	15	17	16	1
適合度②/①	0.40	0.60	0.63	0.57	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数 60年 ※(令和10年)
	・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。 ・令和5(2023)年度を目安として建替等の検討に着手する必要がある。

③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用									209.2		
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		7.7		5.0			0.1				
維持管理費		1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
撤去費											
合計		9.3	1.5	6.6	1.5	1.5	1.6	1.5	210.8	1.5	1.5
累計		9.3	10.8	17.4	19.0	20.5	22.2	23.7	234.5	236.0	237.6

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	62	施設名称	天草農業研究所
	所在地	天草市本渡町	施設管理所属	農業技術課
	敷地面積	35,434.6 m ²	都市計画区域	非線引き都市計画区域
	延床面積	1,058.9 m ²	用途地域	第一種中高層住居専用地域
施設の目的	暖地・海洋性気候に属する天草地方に適した農業振興作物の実証的試験研究を行っている			



(出典: 国土地理院)

2. 建物別一覧

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	事務所棟	1965	RC	426.9	
2	農舎棟(果樹部)	1994	S	312.0	
3	農舎棟(作物部)	1994	S	320.0	

3. 建物毎の概要等

(1) 事務所棟

① 概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	事務所棟	1965	RC	426.9	2	0	55

※築年数はR3.3月末時点

② 利活用の方向性

A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	4	16	17	15	2
適合度②/①	0.40	0.64	0.63	0.54	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数	60年
		※(令和7年)
	・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。	
	・令和3(2021)年度を目安として建替等の検討に着手する必要がある。	
	・現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。(スペース利用率や道路アクセスに課題)	

③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用						256.1					
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		5.5		6.7							21.2
維持管理費		1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9
撤去費											
合計		7.4	1.9	8.6	1.9	258.0	1.9	1.9	1.9	1.9	23.1
累計		7.4	9.3	17.8	19.7	277.8	279.7	281.6	283.5	285.4	308.4

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(2)農舎棟(果樹部)

①概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
2	農舎棟(果樹部)	1994	S	312.0	1	0	27

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目:施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	3	18	20	18	1
適合度②/①	0.30	0.72	0.74	0.64	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目:長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数	60年
		※(令和36年)
・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。		

(3)農舎棟(作物部)

①概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
3	農舎棟(作物部)	1994	S	320.0	1	0	27

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目:施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	3	19	21	17	1
適合度②/①	0.30	0.76	0.78	0.61	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目:長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数	60年
		※(令和36年)
・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。		

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位:百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		14.3		23.8	24.3		0.1		2.2	1.7	
維持管理費		1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4
撤去費											
合計		15.6	1.4	25.2	25.7	1.4	1.5	1.4	3.6	3.1	1.4
累計		15.6	17.0	42.3	67.9	69.3	70.8	72.2	75.8	78.8	80.2

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位:百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		14.6		20.8	28.6		0.1		2.3	1.8	
維持管理費		1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4
撤去費											
合計		16.0	1.4	22.2	30.0	1.4	1.5	1.4	3.7	3.2	1.4
累計		16.0	17.5	39.7	69.7	71.1	72.6	74.0	77.7	80.9	82.3

施設アセスメント調査から算出。

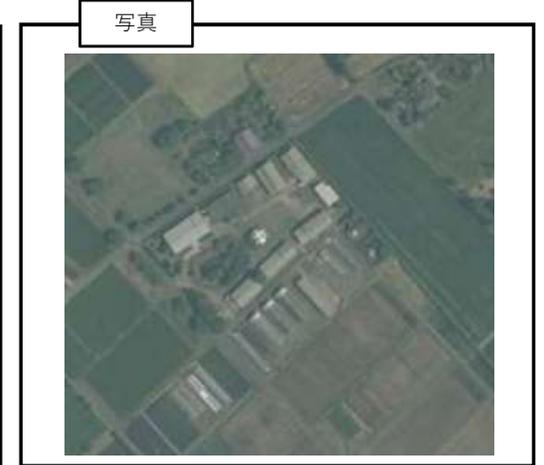
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着眼して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	63	施設名称	球磨農業研究所
	所在地	球磨郡あさぎり町	施設管理所属	農業技術課
	敷地面積	107,467.8 m ²	都市計画区域	都市計画区域外
	延床面積	652.4 m ²	用途地域	
施設の目的	球磨地域特有の気象、土地、経営条件に適した茶、落葉果樹の優良品種選定と、その特性に合う高品質安定多収生産のための栽培技術を研究しています			



(出典: 国土地理院)

2. 建物別一覧

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	本館	1968	CB	349.0	
2	農民研修館	1967	CB	303.4	

3. 建物毎の概要等

(1) 本館

① 概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	本館	1968	CB	349.0	1	0	53

※築年数はR3.3月末時点

② 利活用の方向性

A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	3	15	13	12	4
適合度②/①	0.30	0.60	0.48	0.43	0.57

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数 60年 ※(令和10年)
	・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。 ・令和5(2023)年度を目安として建替等の検討に着手する必要がある。

③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用									209.4		
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		9.5		2.8		0.6	2.0				
維持管理費		1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6
撤去費											
合計		11.0	1.6	4.3	1.6	2.1	3.6	1.6	211.0	1.6	1.6
累計		11.0	12.6	16.9	18.4	20.5	24.1	25.7	236.6	238.2	239.7

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(2) 農民研修館

① 概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
2	農民研修館	1967	CB	303.4	1	0	54

※築年数はR3.3月末時点

② 利活用の方向性

A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	5	15	14	11	2
適合度②/①	0.50	0.60	0.52	0.39	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数 60年
※ (令和9年)

・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

・令和4(2022)年度を目安として建替等の検討に着手する必要がある。

③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用								182.0			
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		6.7		2.4		1.7	0.1				3.5
維持管理費		1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3
撤去費											
合計		8.1	1.3	3.8	1.3	3.0	1.4	183.4	1.3	1.3	4.8
累計		8.1	9.4	13.2	14.6	17.6	19.0	202.4	203.7	205.1	209.9

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に注目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	64	施設名称	農産園芸研究所
	所在地	合志市栄	施設管理所属	農業技術課
	敷地面積	農研センター内	都市計画区域	市街化調整区域
	延床面積	3,416.0 m ²	用途地域	
施設の目的	水稲・麦・大豆類、野菜・花きなどを対象に、品種・品目の選抜育成、栽培法の確立、低コスト安定多収技術の組立実証などについて試験研究を行っている			



(出典: 国土地理院)

2. 建物別一覧

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	作物水田棟	1989	S	464.2	
2	作物原種棟	1989	S	650.4	
3	畑作物資源棟	1989	S	369.6	
4	野菜栽培棟	1989	S	507.6	
5	花き野菜品種棟	1989	S	496.0	
6	現業職員休憩室	1989	S	214.2	
7	試験蚕室棟	1988	S	714.0	

3. 建物毎の概要等

(1) 作物水田棟

① 概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	作物水田棟	1989	S	464.2	1	0	32

※築年数はR3.3月末時点

② 利活用の方向性

A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	4	17	20	15	0
適合度②/①	0.40	0.68	0.74	0.54	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数	60年
		※(令和31年)
	・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。	

③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		28.0		63.7			0.1		3.3	0.8	28.2
維持管理費		2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1
撤去費											
合計		30.0	2.1	65.8	2.1	2.1	2.2	2.1	5.3	2.9	30.3
累計		30.0	32.1	97.9	99.9	102.0	104.2	106.2	111.6	114.4	144.7

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(2)作物原種棟

①概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
2	作物原種棟	1989	S	650.4	1	0	32

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目:施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	4	18	21	16	0
適合度②/①	0.40	0.72	0.78	0.57	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目:長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数	90年
		※(令和61年)
・適切な保全を実施しながら継続利用すること、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。		
・令和8(2026)年度を目安として長寿命化改修(築後40年目を基準)の検討に着手する必要がある。		

(3)畑作物資源棟

①概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
3	畑作物資源棟	1989	S	369.6	1	0	32

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目:施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	5	18	20	16	0
適合度②/①	0.50	0.72	0.74	0.57	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目:長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数	60年
		※(令和31年)
・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。		

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位:百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用										77.4	
更新・修繕費		39.2		89.2			0.2		4.6	1.1	39.6
維持管理費		2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9
撤去費											
合計		42.1	2.9	92.1	2.9	2.9	3.1	2.9	7.5	81.4	42.4
累計		42.1	45.0	137.1	140.0	142.9	146.0	148.8	156.3	237.7	280.2

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位:百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		22.3		28.5			0.1		2.6	1.3	22.5
維持管理費		1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6
撤去費											
合計		23.9	1.6	30.1	1.6	1.6	1.7	1.6	4.2	2.9	24.1
累計		23.9	25.6	55.7	57.3	59.0	60.7	62.4	66.6	69.5	93.7

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(4)野菜栽培棟

①概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
4	野菜栽培棟	1989	S	507.6	1	0	32

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目:施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	4	18	21	17	0
適合度②/①	0.40	0.72	0.78	0.61	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目:長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数 90年 ※(令和61年)
	・適切な保全を実施しながら継続利用すること、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。 ・令和8(2026)年度を目安として長寿命化改修(築後40年目を基準)の検討に着手する必要がある。

(5)花き野菜品種棟

①概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
5	花き野菜品種棟	1989	S	496.0	1	0	32

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目:施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	5	18	20	15	0
適合度②/①	0.50	0.72	0.74	0.54	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目:長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数 60年 ※(令和31年)
	・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位:百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用										60.4	
更新・修繕費		30.6		39.1			0.1		3.6	31.4	30.9
維持管理費		2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3
撤去費											
合計		32.8	2.3	41.4	2.3	2.3	2.4	2.3	5.8	94.1	33.1
累計		32.8	35.1	76.5	78.7	81.0	83.4	85.7	91.5	185.5	218.7

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位:百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		49.9		24.0			0.1		3.5	1.7	24.5
維持管理費		2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2
撤去費											
合計		52.1	2.2	26.2	2.2	2.2	2.3	2.2	5.7	3.9	26.7
累計		52.1	54.3	80.5	82.7	84.9	87.2	89.4	95.1	99.0	125.7

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(6) 現業職員休憩室

① 概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
6	現業職員休憩室	1989	S	214.2	1	0	32

※築年数はR3.3月末時点

② 利活用の方向性

A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	4	17	20	16	0
適合度②/①	0.40	0.68	0.74	0.57	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数	60年 ※(令和31年)
	・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。	

(7) 試験蚕室棟

① 概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
7	試験蚕室棟	1988	S	714.0	1	0	32

※築年数はR3.3月末時点

② 利活用の方向性

A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	5	18	20	15	0
適合度②/①	0.50	0.72	0.74	0.54	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数	90年 ※(令和60年)
	・適切な保全を実施しながら継続利用すること、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。	
・令和8(2026)年度を目安として長寿命化改修(築後40年目を基準)の検討に着手する必要がある。		

③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		13.9		18.0			0.1		1.5	0.7	10.6
維持管理費		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
撤去費											
合計		14.8	1.0	19.0	1.0	1.0	1.0	1.0	2.5	1.7	11.5
累計		14.8	15.8	34.7	35.7	36.6	37.7	38.6	41.1	42.8	54.3

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用									85.0		
更新・修繕費		43.0		55.1		42.9	0.2		5.0	1.2	43.4
維持管理費		3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2
撤去費											
合計		46.2	3.2	58.2	3.2	46.1	3.4	3.2	93.2	4.4	46.6
累計		46.2	49.4	107.6	110.8	156.9	160.2	163.4	256.6	261.0	307.6

施設アセスメント調査から算出。

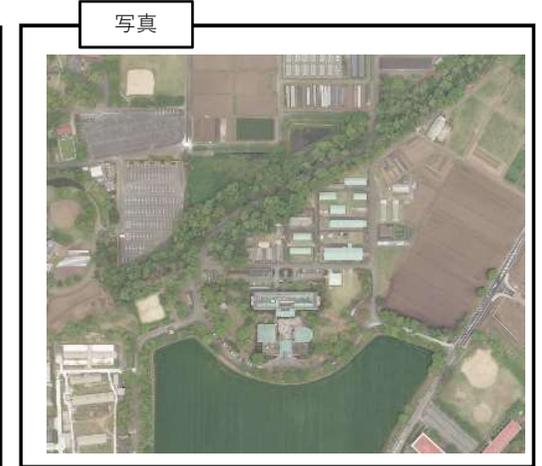
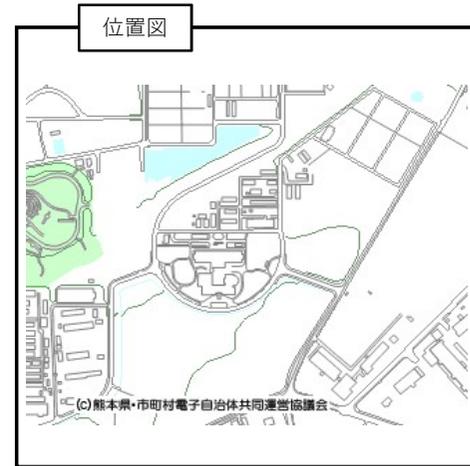
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	65	施設名称	畜産研究所
	所在地	合志市栄	施設管理所属	農業技術課
	敷地面積	農研センター内	都市計画区域	市街化調整区域
	延床面積	405.5 m ²	用途地域	
施設の目的	肉用牛、乳用牛の大家畜、豚・鶏の中小家畜を対象とした育種改良、飼養管理技術の開発、受精卵移植などの先端技術の開発応用、未利用資源の飼料化を含む自給飼料の安定生産技術の確立や畜産環境の保全に関する試験研究を行う			



(出典: 国土地理院)

2. 建物別一覧

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	繁殖センター試験研究棟	1987	RC	405.5	

3. 建物毎の概要等

(1) 繁殖センター試験研究棟

① 概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	繁殖センター試験研究棟	1987	RC	405.5	1	0	33

※築年数はR3.3月末時点

② 利活用の方向性

A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	5	19	21	17	0
適合度②/①	0.50	0.76	0.78	0.61	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数	60年 ※(令和29年)
	・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。	

③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		16.9		21.6			0.0	0.8	2.0	0.5	22.2
維持管理費		1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
撤去費											
合計		18.7	1.8	23.4	1.8	1.8	1.9	2.6	3.8	2.3	24.0
累計		18.7	20.5	43.9	45.7	47.5	49.4	51.9	55.8	58.1	82.1

施設アセスメント調査から算出。

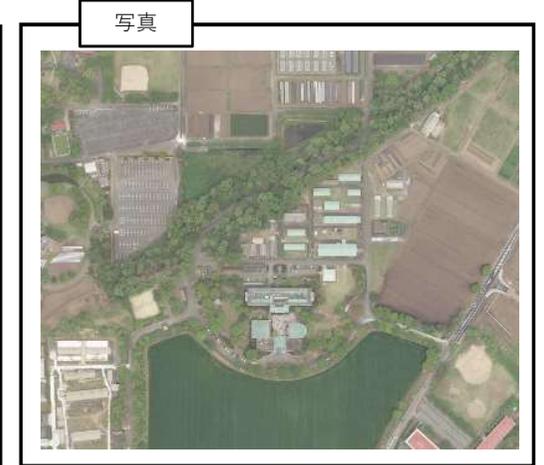
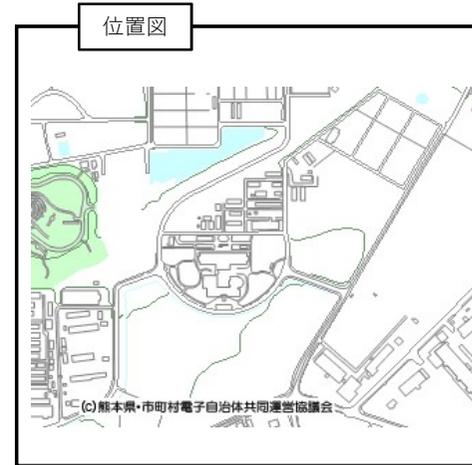
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	66	施設名称	生産環境研究所
	所在地	合志市栄	施設管理所属	農業技術課
	敷地面積	農研センター内	都市計画区域	市街化調整区域
	延床面積	702.0 m ²	用途地域	
施設の目的	農作物の安全性や土壌、病害虫、施設など生産環境にまつわる様々な技術の開発、省力・低コスト化の組立実証、土地基盤の整備などについて試験研究を行っています。			



(出典: 国土地理院)

2. 建物別一覧

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	環境棟	1989	S	702.0	

3. 建物毎の概要等

(1) 環境棟

① 概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	環境棟	1989	S	702.0	1	0	32

※築年数はR3.3月末時点

② 利活用の方向性

A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	4	17	20	16	0
適合度②/①	0.40	0.68	0.74	0.57	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数	90年 ※(令和61年)
	・適切な保全を実施しながら継続利用すること、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。	
	・令和8(2026)年度を目安として長寿命化改修(築後40年目を基準)の検討に着手する必要がある。	

③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用										83.5	
更新・修繕費		69.8	5.4	21.2			0.1		5.0	43.4	42.7
維持管理費		3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1
撤去費											
合計		72.9	8.5	24.4	3.1	3.1	3.2	3.1	8.1	130.1	45.8
累計		72.9	81.4	105.8	108.9	112.0	115.3	118.4	126.5	256.6	302.4

施設アセスメント調査から算出。

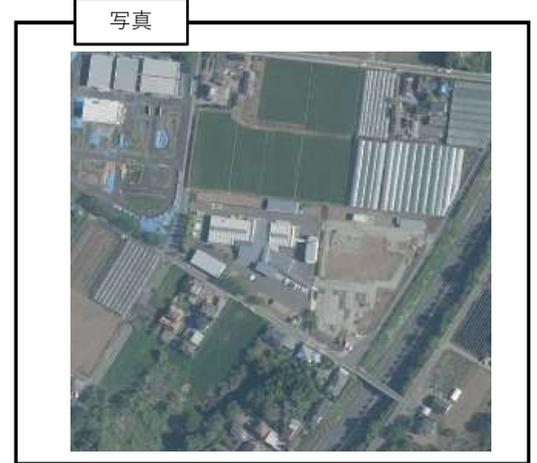
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	67	施設名称	中央家畜保健衛生所
	所在地	熊本市南区城南町	施設管理所属	畜産課
	敷地面積	15,542.47 m ²	都市計画区域	市街化調整区域
	延床面積	1,807.3 m ²	用途地域	
施設の目的	家畜伝染病の予防や精密検査、生産性向上等の各種指導を行う			



2. 建物別一覧

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	本館	2015	W	1,567.3	
2	防疫資材等保管倉庫	2012	W	240.0	

(出典: 国土地理院)

3. 建物毎の概要等

(1) 本館

① 概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	本館	2015	W	1,567.3	1	0	5

※築年数はR3.3月末時点

② 利活用の方角性

A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	3	16	19	19	2
適合度②/①	0.30	0.64	0.70	0.68	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数	60年
		※(令和57年)
	・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。	

③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦 西暦	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費			11.0	2.7		129.9				11.0	21.7
維持管理費		7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0
撤去費											
合計		7.0	18.0	9.7	7.0	136.9	7.0	7.0	7.0	18.0	28.7
累計		7.0	25.0	34.7	41.6	178.5	185.5	192.5	199.4	217.4	246.1

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(2)防疫資材等保管倉庫

①概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
2	防疫資材等保管倉庫	2012	W	240.0	1	0	8

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目:施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	4	19	22	19	0
適合度②/①	0.40	0.76	0.81	0.68	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目:長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数 60年
※(令和54年)

・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位:百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費			5.3			14.6	1.7	3.3	0.4		
維持管理費		1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1
撤去費											
合計		1.1	6.4	1.1	1.1	15.6	2.8	4.4	1.5	1.1	1.1
累計		1.1	7.5	8.5	9.6	25.2	28.0	32.4	33.9	34.9	36.0

施設アセスメント調査から算出。

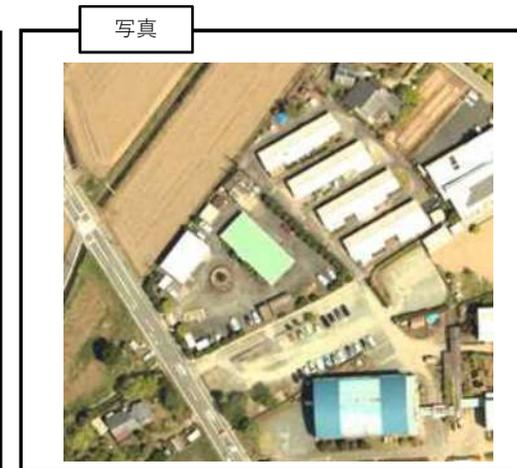
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	68	施設名称	城北家畜保健衛生所
	所在地	山鹿市鹿本町	施設管理所属	畜産課
	敷地面積	2,837.1 m ²	都市計画区域	都市計画区域外
	延床面積	717.0 m ²	用途地域	
施設の目的	家畜の伝染病予防や農家の経営安定のための各種指導を行う			



(出典: 国土地理院)

2. 建物別一覧

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	管理棟及び防疫衛生棟	2017	W、RC	717.0	

3. 建物毎の概要等

(1) 管理棟及び防疫衛生棟

① 概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	管理棟及び防疫衛生棟	2017	W、RC	717.0	1	0	3

※築年数はR3.3月末時点

② 利活用の方向性

A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	5	15	19	19	1
適合度②/①	0.50	0.60	0.70	0.68	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数	60年 ※(令和59年)
	・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。	

③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費			4.1		5.1	44.4		16.3			
維持管理費		3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2
撤去費											
合計		3.2	7.3	3.2	8.2	47.5	3.2	19.5	3.2	3.2	3.2
累計		3.2	10.5	13.7	21.9	69.5	72.6	92.2	95.4	98.5	101.7

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	69	施設名称	阿蘇家畜保健衛生所
	所在地	阿蘇市一の宮町宮地	施設管理所属	畜産課
	敷地面積	2,755.5 m ²	都市計画区域	都市計画区域外
	延床面積	683.0 m ²	用途地域	
施設の目的	家畜の伝染病予防や農家の経営安定のための各種指導を行う			



(出典: 国土地理院)

2. 建物別一覧

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	管理棟及び防疫衛生棟	2019	W	683.0	

3. 建物毎の概要等

(1) 管理棟及び防疫衛生棟

① 概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	管理棟及び防疫衛生棟	2019	W	683.0	1	0	1

※築年数はR3.3月末時点

② 利活用の方性

A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	4	17	19	16	2
適合度②/①	0.40	0.68	0.70	0.57	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数	60年
		※(令和61年)
	・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。	

③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費				18.3	44.9	0.1		1.2		44.8	13.4
維持管理費		3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
撤去費											
合計		3.0	3.0	21.4	47.9	3.1	3.0	4.2	3.0	47.8	16.5
累計		3.0	6.1	27.4	75.4	78.5	81.5	85.8	88.8	136.6	153.1

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着眼して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

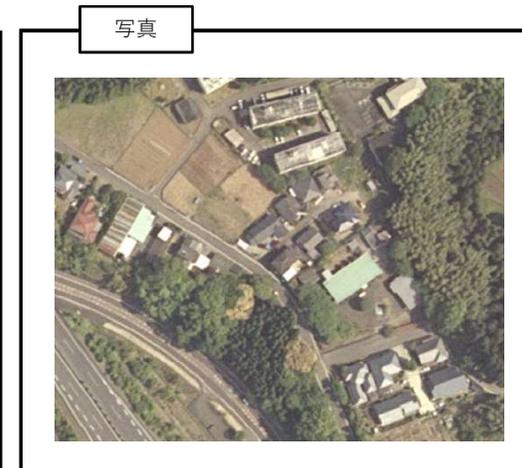
基本情報	施設番号	70	施設名称	城南家畜保健衛生所
	所在地	人吉市蟹作町一本杉	施設管理所属	畜産課
	敷地面積	2,970.9 m ²	都市計画区域	
	延床面積	m ²	用途地域	
施設の目的	家畜の伝染病予防や農家の経営安定のための各種指導を行う			

2. 棟名称一覧

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	本館				



(出典: 国土地理院)



(出典: 国土地理院)

3. 棟ごとの整理

(1) 行政棟本館

①概要 面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	本館						

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方角性

A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②					
適合度②/①	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	-
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数	年
	※ (令和12年)	
・令和3年4月に新事務所竣工予定。		
※施設アセスメント調査未実施		

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。